

令和5年度 議会報告会・意見交換会についてのご意見等に対する回答

○主な質問・要望 【 下延沢：11月16日（木） 】

| 発言要旨 | 議会回答 |
|--|--|
| <p>【公園】</p> <p>○現在、松ノ木河原第1公園のバスケットゴールの利用を禁止している状態である。子どもたちなど住民の要望と町の対応にギャップがあるのではないかと。住民の要望はどうか。</p> | <p>○住民の意識調査までは行っていないが、使いたいという声が多いことは認識している。他の公園では、(自分たちの公園の意識で) 地域の方から花を植えたいが町で花代を補助してくれないか、という声もある。住民の要望に沿った、住民が自由に使える公園を目指すべきであると考えている。</p> |
| <p>【公園】</p> <p>○46か所の公園について、どのように質を捉えているのか。また、公園数をどう捉えているのか。他の自治体と比べて公園が占める面積はどうか。</p> | <p>○数があっても使える公園が少ないという声が子育て世代からあった。設備面だけでなく、同時に地域の方々にいかに愛着をもっていただくかが質につながっていく。町面積からすると公園数は非常に多いが、実際に調査すると、危険な場所や、これが公園かと疑う場所がある。今後、統合も含めた検討が必要となる。</p> |
| <p>【公園】</p> <p>○公園を利用する意図は世代ごとに異なるのではないかと。子どもはキャッチボール、高齢者はゲートボールなど。スケートボードやバスケットのニーズもあるかもしれない。それぞれの機能で公園を分けるということも必要ではないかと。</p> | <p>○全町から子育て世代が集まれる公園があってもいいのではという声も上がっている。ご意見として参考にさせていただく。</p> |

【子育て】

○医療費助成の対象を18歳までにしたことはよい。
議会の尽力に感謝する。こども家庭庁ができたが、「子ども」は高校生までなので、幼児、児童だけでなく高校生への支援にも目を向けてもらいたい。
小田原高校を学力向上進学重点校に指定する県の判断は、高校の学力差別の増長とも取れる。実際には生徒が集中することが考えられる。
昔は学区制があったが、今は県西地域以外まで通う生徒も多い。湯河原町では通学定期券の購入費を補助する制度があるようだが、開成町ではどうか。

○開成町では通学定期券購入補助はない。
ご意見として承る。

【老人クラブ・高齢化】

○下延沢地区の老人会(長生会)の存続が厳しいことが目下の自治会の課題である。
会員は100名以上だが高齢化により活動できる方が限られる。役員のみならず手不足である。
自治会としては、いきいき健康体操や各行事にも多くの方に参加してもらいたい、高齢化が進み過ぎて、実際の参加は少ない。長生会を下延沢自治会福祉部に編入する話も出ている。
他の老人クラブでは活発に活動されたり、役員のみならず手も問題なく決まったりするところもある。町内の全老人クラブが衰退しているのではないと思うが、現状を認識していただきたい。

○ご意見として承る。
高齢者にとって、会話するなどコミュニケーションを取る場を設けていかないといけない。老人クラブに限らず、機会を考えないといけない。
円中地区では60歳から老人クラブの勧誘を受ける。老人クラブのなかでも若い世代が行事の設営を行うなど分担している。
開成町も高齢化が進んでおり、町は介護の体制を整えなければならない。
町では介護のニーズが増えているが、元気な高齢者へのサポートが行き届いていないようである。

| | |
|---|---|
| <p>【公園】</p> <p>○下延沢には公園がない。昔は開成小学校の校庭が遊び場だったが現在は遊び場として利用はできない。藤枝市には、敷地が広く、避難所にもなっている整備が行き届いた公園がある。親子でのサッカーは日常的な光景で、県のスポーツ振興に繋がっている。子どもたちが活発に遊ぶ声は、高齢者を含め地域を元気づける。県外の公園を視察してはどうか。</p> | <p>○子どもの頃は、小学校校庭、町民センターの遊具があった場所、酒田神社の境内、町民プールなど、子どもの居場所があった。現在、遊び場が減っている。松ノ木河原のバスケットゴールに関しては、場所が住宅地に密接していることが難点である。バスケットゴールがある大井町の中央公園や視察で行った岩手県紫波町の広場とは環境が異なる。</p> <p>意見を参考に、引き続き総務経済常任委員会で所管事務調査を進めていきたい。</p> |
| <p>【公共施設改修工事・図書室】</p> <p>○町民センターと福祉会館の改修工事をなぜ同じ時期に行うのか。人が集まって活動できる場所がなくなっている。町民センターの図書室も閉室してしまっている。移動図書館など代替対応の意見も出なかったようである。</p> <p>新刊や新聞だけでも庁舎の町民プラザで読めるようにできるのではないか。</p> <p>パレットガーデン自治会では、会員からの寄贈などで様々なジャンルの本を集めた図書コーナーを自治会館ロビーに設置し、皆で利用する「パレット文庫」がある。</p> <p>地域などでも取り組めることがあるのではないか。</p> | <p>○福祉会館と町民センターを同時期に改修工事することで利用者にご不便をかけている。</p> <p>福祉会館は指定管理者である社会福祉協議会が施設を管理してる。町民センターについては、担当課（生涯学習課）に確認したところ、可能であれば、図書室を含めた各工事箇所の改修工事を順次行い、できるところから開放していきたい考えがあるようである。なお、工事業者との工程調整があるため、明確な回答はもらっていないが、改修工事の工期より早く利用できるようになる可能性はある。</p> <p>○各議員は、読書環境、図書について関心を持ち、議会の一般質問など様々なかたちで質問、意見している。開成町議会の行政視察で長野県小布施町の図書館の視察を行った。</p> <p>現町長は図書館の整備に意欲的である。議員もその意欲に手応えを感じている。</p> <p>○移動図書館について質問したことがあるが、町からは、近隣に大きな図書館があるので、そちらを利用するようにと回答であった。</p> <p>教育の町として子どもと大人の学ぶ機会をどう守っていくのか、今後も議会の一般質問等で取り上げていきたい。</p> |

| | |
|---|---|
| | <p>【追加】 ※令和6年1月4日現在 開成町民センター改修工事の影響で図書室が閉室しているため、役場庁舎1階町民プラザ内で臨時図書室を開設している。</p> <p>〔開設日時〕 開設期間：令和5年12月5日（火）～ 令和6年3月31日（日） 開設曜日：火曜日～金曜日（祝日を除く） 開設時間：13：00～16：00</p> <p>〔開設内容〕 令和6年1月5日からは、新刊本を含む一部の図書の閲覧および貸出を行っている。</p> |
| <p>【図書室・読書環境】 ○開成町の図書室や読書環境について、20年前のまちづくり町民集会でも質問したが、「他市町の図書館の広域利用を」という回答であった。20年間町の考えは変わっていない。小さな図書室だが毎日利用する人がいる。また、キッズライブラリーでは、読み聞かせなど利用する親子いる。 （図書室が閉室となっているが、）このままだと図書難民や、集まれる場所を求める人々が町外に出ていく。過疎化してしまう。高齢者が集まれる場所についても含めて、先々のことを真剣に考えてほしい。</p> | <p>○ご意見として承る。町民の意見として町に伝えていく。</p> |
| <p>【ペット同行避難】 ○小田原市では災害時にペット同行で避難所に避難することができる。 ペットの防災対策に関する講習会に参加したが、開成町でも同様の講習会の開催を提案してほしい。</p> | <p>○令和5年6月定例会議の一般質問で、清水議員が災害時のペット同行避難について質問している。 ペット同行避難の普及・啓発をしている団体に確認したところ、団体でセミナーや講習会等を開催することは可能であるとのこと。 開成町でも災害時にペットを同行避難できる避難所がある。町は、隔年でペットのしつけ教室を開催しており、次回は令和6年度に開催予定である。町は、このしつけ教室の中で防災対策について取り入れていくとのことである。</p> |